

第1回

2級

例題
(2級)

漫画技法検定

試験問題

(制限時間 180分間)

《注意事項》

1. 合図があるまで、問題用紙を開かないで下さい。
2. 試験委員の指示をよく聞いて下さい。
3. 受験票および下記の画材以外のものは、机の上に出さないで下さい。
下描き用 鉛筆(シャープ可)、消しゴム
ペン入れ用 つけペンセット(ペン先・ペン軸・インク)、ミリペン、フェルトペン等
ベタ塗り用 筆ペン、面相筆、墨汁、油性マジック等
ホワイト ミスノン、ホワイトインク、修整ペン
トーン スクリーントーン(指定のもの)、カッター、デザインカッター
4. 解答は決められた用紙の枠の中に描画して、正しく使用してください。
5. 公開会場受験の方は試験中に受験票を回収いたしますので通路側の机の上の部分に置いてください。
6. 解答用紙は試験終了後に回収いたします。折り曲げたり汚したりしないでください。

2級 - 技法検定課題

次は、タイトル「ラブレター」の中の一シーンです。ラフ（ネーム）の人物をオリジナルキャラクターに変えて1ページ原稿を完成させなさい。

登場人物

正夫（主人公） 高校1年生

優希（正夫のクラスメート） 高校1年生

シナリオ

高校1年生の正夫が同じクラスの優希にラブレターを渡そうとしました。しかし正夫は優希に自分からのラブレターだと言えませんでした。優希は正夫がラブレターを代理で渡すように頼まれたと勘違いして二つに破ってしまいます。初めてのラブレターで、ちゃんと本人が渡してくれたら前向きに考えるという優希から、照れて破れた片方のラブレターを奪って逃げだしてしまいました。優希の手元には破れた片方のラブレターが残りました。

先ほど優希と正夫との間には次のようなやり取りがありました。

優希「このラブレターは誰からなのよ」

正夫「それはいえない」

優希「誰かに頼まれたのね、渡してこいって」

正夫「そ そんなところだ」

優希「あっそう」「それじゃ」

ラブレターをおもいきり破り捨てる優希

正夫「あー」「何すんだよ 破くことないだろ」

優希は怒った表情で

優希「だってラブレターを代理人に頼むなんて男らしくないよ」

「受け取れない」

優希「ばかよね」「生まれて初めてのラブレターだから」

「前向きに考えたのにさ」

正夫「そ…そうだったのか」

正夫「いまさら俺だっていえないよな」

真っ二つに破れたラブレターの片方を奪い取り

慌てて走り去る正夫でした。もう片方は優希の手元にあります。

今、優希は先ほどのことを悔やんで、正夫を探して謝りたいと追いかけてきました。

正夫を見つけて声を掛けました。びっくりする正夫に優希は謝りますが

次ページのラフ（ネーム）を参考に完成原稿を作って下さい。

指示1 工程は、コマ割り、下書き、ペン入れ、ベタ塗り、消しゴムかけまでの工程とします。

指示2 トーンを適切に利用して紺の学生服を表現して下さい。

指示3 正夫の洋服は学生服、勇気はセーラー服とします。

指示5 優希の髪長さ等は変えても構いません。

指示6 コマ数、コマ割り、セリフを変更しないで下さい。

指示7 先日のラブレターを破られた回想シーンを適切に表現して下さい。

指示8 優希から声を掛けられてビックリした様子を集中線で表現して下さい。



あゝ 優希

正夫君
やっと見つけた



後悔してるの

さっきは
ついカッとなって
ラブレター破い
ちやっただけど

関係ない
正夫君にも
ひどいことを
いつちやっだし



とりあえず
俺から話しておくよ

あまり気にするな

私どう謝れば
いいのか…

[解答用紙]